

(参考)

令和5年度事業計画書

【概要】

令和5年度は、すべての島民の創意と行動力を結集して「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」を目指して、さらなる淡路地域の発展に向けて、「淡路を担う人づくり」「花と緑豊かな環境づくり」「活気あふれる地域づくり」「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進する。

なお、事業実施にあたっては、コスト削減を図るなど、効率的かつ効果的な運営に努めることとする。

【事業の内容】 ()内は予算額

I 淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座 (4,341千円)

淡路島の活性化と人づくりを目的として、島内外の多くの人々が淡路島のすばらしい自然、歴史、文化等への理解を深める講座を開催する。

《実施回数》 6回程度

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会 (2,955千円)

淡路島出身の偉人 永田青嵐(本名:永田秀次郎)の功績を全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚や、交流人口の増加による淡路島の活性化を図るため、第15回となる全国俳句大会を実施する。

《実施内容》

- ・投句募集 令和5年6月～9月
- ・俳句出前講座 3回程度
- ・俳句入門講座 3回連続講座
- ・淡路島吟行バスツアー
- ・表彰式、講演会 令和6年2月頃

3 花づくり人材育成事業 (911千円)

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会を開催する団体を対象に、花づくりの専門家(講師)の派遣費用及び材料費等一部を助成する。

- ・講師の派遣 15回程度(NPO法人あわじ緑花協会に委託)
- ・派遣対象 自治会、花づくりグループ等

(2) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」として知事認定を受けた者に受講料の一部を助成する。

II 花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭 (17,485千円)

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため関係機関等と連携し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催する。

(1) 淡路花祭 2023 春

・期 間 令和5年3月18日(土)～5月28日(日)

《主要事業》

- ・パネルオブジェ「AWAJI」 & SDGs プランツボックスの展示（洲本市民広場）
- ・第10回お絵かき花壇づくりコンテスト（淡路島国営明石海峡公園）
- ・第11回淡路花祭フォトコンテスト
- ・Instagram「淡路花祭 2023 春」フォトコンテスト【新規】
- ・淡路花祭 PR 花壇の展示（淡路サービスエリア(下り線)施設内)

(2) 淡路花祭 2023 秋

・期 間 令和5年9月中旬～10月末

・オープニングセレモニー（南あわじ市内）

《主要事業》

- ・第12回高校生花とみどりのガーデン（県立公園あわじ花さじき）
- ・花と緑の講演会（淡路島くにうみ講座と併催）
- ・淡路花祭 2023 秋キャンペーン「花の札所 WEB スタンプラリー」
- ・第12回淡路花祭フォトコンテスト
- ・淡路花祭 PR 花壇の展示（淡路サービスエリア(下り線)施設内)

(3) 2024 冬咲きチューリップショー

花の少ない冬季に、新たな花の名所づくりを目的として冬咲きチューリップショーを開催する。

・期 間 令和6年1月中旬～2月中下旬

・場 所 洲本市民広場、淡路サービスエリア(下り線)施設ほか

(4) 淡路花祭 2024 春

・期 間 令和6年3月中旬～5月末

・オープニングセレモニー（淡路市内）

- ・花と緑の講演会（淡路島くにうみ講座と併催）
- ・第11回お絵かき花壇づくりコンテスト（淡路島国営明石海峡公園）
- ・第12回淡路花祭フォトコンテスト（再掲）
- ・Instagram「淡路花祭 2024 春」フォトコンテスト

2 花街道づくり事業（2,318千円）

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花による街道づくりを実施する個人・団体に対して上限20万円の助成を行う。

3 花の札所推進事業（あわじ花へんろ）（5,265千円）

花の島・淡路島の魅力を広く発信するため、花の景勝地や観光施設等74箇所を「花の札所」として指定するとともに、スタンプラリーの開催や開花情報の発信等を通じ、「花の札所」の取組を支援する。

《事業内容》

(1) 花の札所拡充事業助成

花の札所の魅力向上に取り組む札所を支援するため、整備費等について上限20万円の助成を行う。

- (2) 花の札所開花状況等情報提供促進奨励金の交付
開花情報等の報告を年2回以上行った施設に対して各2万円の奨励金を交付する。
- (3) 花の札所連絡会の開催
花の札所の取組状況等について情報共有や意見交換を行う連絡会を開催する。
(構成メンバー：花の札所管理者、淡路県民局、3市、淡路島くにうみ協会)
- (4) 広報PR
 - ①花の札所スタンプラリーの開催
 - ア 花の札所スタンプラリー「四季のスタンプブック」(冊子版、リーフレット版)の作成
 - イ スマホ版スタンプブック(WEBアプリ)の運用
 - ウ スタンプラリー参加者プレゼントの実施(10・20・35・74スタンプの各コース)
 - ②「2024花の札所カレンダー」の作成(令和5年12月)
四季折々の花の札所を特集したカレンダーを作成し、会員や関係機関に配布する。
 - ③ 花の札所花だよりの発行(毎月)
 - ④ あわじ花へんろホームページやフェイスブック、インスタグラムによる情報発信

4 環境美化事業(300千円)

「環境立島淡路」島民会議に参画し、「環境美化月間」及び「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施する。

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 地域活性化助成事業(3,605千円)

淡路島の活性化を図ることを目的とした、まちおこし事業、地域交流事業、文化・芸術事業又は、国生み神話、御食国、日本遺産などの「国生みの島」に関連した事業を実施しようとする団体に対し経費の一部として上限20万円の助成を行う。

2 淡路島ブランド広域推進助成事業(1,503千円)

淡路島内の地場産品を利用して、魅力ある「淡路島ブランド」を創出・育成し、広域的に事業展開をする団体に対し経費の一部として上限50万円の助成を行う。

3 淡路島総合観光戦略推進事業(4,807千円)

令和5年3月に策定された「淡路島総合観光戦略」に基づく観光客の誘致等に向けた一般社団法人淡路島観光協会の取組を支援し、淡路地域の交流人口の増加や活性化を図る。

(1) 淡路島総合観光戦略の推進

専門人材の登用、淡路島観光戦略会議・淡路島観光会議の運営、淡路島観光客満足度調査の実施等

(2) 来島者受入環境整備事業

多言語対応等インバウンド推進体制の整備、観光人材育成セミナー・あわじ島創作料理コンテストの開催、情報発信等

(3) 大阪・関西万博等連携推進事業

兵庫デスティネーションキャンペーン、大阪・関西万博事業との連携等

(4) ヘルスツーリズム推進事業

関連商品の造成、情報発信の充実等

(5) サイクルツーリズムの推進

サイクリスト誘引推進、バーチャルサイクリングを活用したイベントの実施等

(6) 食のブランド「淡路島」の推進【新規】

「御食国ブランド」の広域連携、“御食国あわじ”島グルメの情報発信、食の背景を語る観光従事者の育成等

(7) AWAJI 島博（仮称）の実現に向けた取組の推進【新規】

実行委員会の立上、島博のシンボルとなる統一ロゴの作成、島博開催の気運醸成等

(8) 首都圏誘客戦略（徳島空港の活用促進）の展開【新規】

徳島空港の活用促進、徳島空港からレンタカー利用での来島促進等

4 活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド 150 支援事業 (3,061 千円)

秋に開催を予定している「淡路島ロングライド 150」の実行委員会に参画し、運営経費の一部を負担するとともに、県及び3市と協力して4箇所のエイドステーション（休憩所）で淡路島の食材を使ったふるまい等を行う。

(2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

本四道路活用イベント実行委員会に参画し、地域の魅力発信のためのイベントを実施する。

① 明石海峡大橋海上ウォーク

明石海峡大橋の管理用通路歩行

《実施時期 未定》

② 大鳴門橋うずしおウォーク

大鳴門橋の管理用通路歩行

《実施時期 未定》

(3) 広域連携イベント等支援事業 (3,800 千円)

淡路全島の行政、各種団体等が参画して実施されるスポーツ等のイベント、島外での淡路島のPR、自然環境保全の取組などを支援する。

(4) Awaji Art Circus 支援事業 (260 千円)

海外アーティストによる淡路島の地域資源も活用した国際アートフェスティバルの開催を支援する。

5 フィルムオフィス事業 (6,000 千円)

淡路島内での映画、テレビ、CMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネーター、エキストラの手配、撮影スタッフの宿泊斡旋等の支援を行っている「淡路島フィルムオフィス」の運営経費を負担するとともに、その事務局を運営する。

6 淡路島日本遺産推進事業 (1,210 千円)

平成 28 年 4 月に認定された淡路島日本遺産の認知度を高め、交流人口の増加による地域活性化に寄与するため3市、県民局等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、事業を推進する。

7 淡路島くにうみ協会設立 15 周年記念事業【新規】 (350 千円)

令和 6 年 4 月に淡路島くにうみ協会の設立 15 周年を迎えるため記念誌を作成する。

IV あわじ環境未来島構想の推進

恵まれた特性を有しながらも、人口減少や経済規模の縮小といった課題に直面する淡路島において、地域資源を生かして「生命つながる持続する環境の島」を目指す「あわじ環境未来島構想」の実現に向けて、県・市・住民・地域団体・企業等と協働して取り組む。



【取組の3本柱と地域の将来目標】

- 1 あわじ環境未来島構想推進協議会の運営 (1,350千円)
住民、地域団体、NPO、企業、行政等が幅広く参画する協議会を設置・運営する。
- 2 あわじ環境未来島構想の情報発信 (1,000千円)
構想の意義や取組についてセミナーの開催やホームページ、小学生用副読本等により広く周知啓発を行い、島民自らが持続可能な地域づくりへ取り組む機運を醸成する。
 - (1) あわじ環境未来島副読本「みらい」の作成
副読本を小学生高学年等に配布し、総合学習などの授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとする。
 - (2) あわじ環境未来島情報発信事業
「あわじ環境未来島構想」ホームページの維持管理を行う。
 - (3) ノベルティグッズ等の作成
SDGsに配慮したノベルティグッズ等を作成し、イベント等での構想の啓発を行う。
- 3 あわじ環境未来島体験ツーリズムの推進【新規】 (1,000千円)
島内で様々な活性化に取り組む現場を巡り、体験や見学を通じてSDGsや淡路島の未来を考えるきっかけとなるツアーの開催、研修・視察の受入を実施し、住民、企業、NPO等の様々な主体が協働して進めている「あわじ環境未来島構想」をより推進する。
 - (1) あわじ環境未来島体験ツアーの開催
あわじ環境未来島構想に基づき、島内で展開されているプロジェクト現場等を体験、見学するツアーを開催する。

(2) あわじ環境未来島構想に関する研修・視察の受入

あわじ環境未来島構想に関心のある企業・学校等の研修・視察について、資料提供やレクチャーを実施し、研修・視察先の調整等について情報提供する。

4 「EV アイランドあわじ」の推進 (5,000 千円)

構想の柱の一つである「エネルギーの持続」の推進のため、エネルギー効率が良く、CO₂削減効果の高い電気自動車 (EV) の普及に取り組む。

(1) EV 導入補助事業

島内の事業者を対象として、EV の導入補助を行い、EV の導入促進を図る。

(2) 「道の駅」への EV 用充電インフラ整備補助事業【新規】

EV の導入促進と充電インフラ整備を図るため、淡路島内の「道の駅」における EV 用急速充電器の整備に対して支援を行う。

5 エネルギーの地産地消の促進 (家庭用蓄電池の導入支援) (7,200 千円)

太陽光発電の自家消費対策として家庭用蓄電池を導入する島民に対して設備費の一部を支援することにより、家庭部門におけるエネルギーの地産地消を促進する。

6 住民参加型太陽光発電事業 (住民参加型くふうみ太陽光発電所) (54,653 千円)

県立淡路島公園隣接用地に建設したメガワット級 (約1メガワット) の太陽光発電施設を運用し、売電事業を行う。

V 普及啓発 (6,650 千円)

「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」にふさわしい淡路島のイメージを様々な媒体と機会を活用して島内外に広く発信する。

1 ホームページ等の運営

当協会のホームページ、フェイスブック、インスタグラムを用い、幅広い世代に向けて情報発信する。

2 協会広報紙の発行

当協会の概要や事業を紹介する広報紙を作成し、配布する。

3 各種媒体を使った広報

ノベルティグッズ (花の種等) を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行う。

4 事業への協賛

行政機関、各種団体等が実施する事業に協賛する。